

フィールド5 教育文化

次に、フィールド5 教育文化について、申し上げます。

まず、公民館につきましては、地域住民の教養の向上や健康の増進、情操の純化を図るため、各種講座や教室などを開催し、学びの場を提供し、地域住民が主体的に生活文化の振興と社会福祉の増進に取り組むことができるよう支援してまいります。

また、地域の課題は、地域によって異なりますことから、地域住民と関係団体とのつなぎ役にもなり、“つどう” “まなぶ” を事業の柱としながら、地域課題の解決に努めてまいります。

さらに、施設環境整備として、神郷公民館の外壁改修工事、別子山公民館の屋上防水、外壁改修工事等を実施いたします。

市史編さん事業につきましては、市史編さんの意義を広く市民に理解していただくため、様々な普及事業を展開するとともに、最初の刊行物となる「(仮称)新居浜市史0巻」を刊行いたします。

次に、学校教育につきましては、E S Dを推進し、国際的な目標であるSDGsの達成、将来の社会の担い手である子どもたちの育成に向けて、学校・家庭・地域が連携して特色ある学校づくりに努めてまいります。

また、確かな学力の向上と定着を図るための学習指導の改善に努め、課題解決能力を育てる学習の充実を推進してまいります。また、スクール・サポート・スタッフを増員し、教員が子どもと向き合う時間の確保に努めます。

不登校、問題行動等の対応につきましては、あすなろ教室での活動や、小中学校におけるスクールカウンセラー、ハートなんでも相談員の相談活動を行うとともに、スクールソーシャルワーカーを増員し、関係機関との連携を深め、不登校対策の充実に努めてまいります。

次に、教育環境の整備につきましては、垣生小学校及び中萩中学校の屋上防水改修工事など子ども達が安心・安全に学校生活を送るために、教育環境の改善を図ってまいります。

また、学習者用端末1人1台を目指して、令和2年度は、3クラスに1クラス分のタブレット端末の整備及び小学校5・6年生と中学校1年生に1人1台のタブレット端末を整備いたします。

次に、特別支援教育につきましては、障がいや発達に課題のある子どもが将来を見据え自立していくことができるよう、早期発見、早期支援、一貫した支援に努め、インクルーシブ教育システムの構築に向け、学校生活介助員等の適切な配置等、合理的配慮に努めてまいります。

次に、芸術文化の振興につきましては、あかがねミュージアムにおいて、開館5周年を記念して、東京藝術大学クローン文化財による「法隆寺金堂釈迦三尊像」をはじめ、ゴッホの「自画像」等世界的文化財に触れ、体感できる展覧会「素心伝心」や、チームラボのデジタルコンテンツによる子どもたちが楽しめる展覧会「未来の遊園地」等を開催いたします。

また、新たに国の天然記念物に指定されました「銅山峰のツガザクラ群落」の保存活用計画の策定に着手いたします。

次に、スポーツの推進につきましては、東京オリンピックの事前合宿誘致やサウジアラビアのホストタウンとして、スポーツのほか、文化、教育、経済などの交流促進が図られるよう努めるとともに、本年4月には、オリンピック聖火リレー、8月には、パラリンピック聖火フェスティバルを実施いたします。

さらに、本年9月に開催される日本スポーツマスターズ2020愛媛大会において、本市で行われる女子バレーボールなどの開催を支援いたします。

次に、近代化産業遺産の保存・活用につきましては、産業遺産のネットワークを構築するための拠点整備として、保存活用計画に基づき、旧端出場水力発電所の耐震補強等の整備を進めるとともに、山田社宅整備促進につきましても、鉾山所長社宅、化学幹部社宅について、展示、電気設備等の整備の後、仮オープンを行うなど、順次整備を進めてまいります。

また、広瀬歴史記念館において企画展を開催するとともに、国指定重要文化財旧広瀬家住宅と名勝旧広瀬氏庭園の保存活用計画の策定に着手いたします。